

# 新年ご挨拶

明けましておめでとうございます。  
年頭に当たり、ひとことご挨拶申し上げます。

昨年は、1月1日の「能登半島沖地震」という大きな災害の発生から始まりました。多くの方が亡くなり1年たった現在も、被災地復興に向けた活動が続いています。まだ2万人以上の方が避難生活をされており、高齢者の方々を始めたいへん苦しい環境で生活されています。改めて、お見舞い申し上げたいと存じます。



代表取締役社長 三宅啓一

能登の復興だけでなく、国土強靱化に向けた防災減災への対策設備、社会インフラの整備、官公庁のリニューアル、物流、病院、観光、生活関連施設など、暮らしを支える上で欠かすことができないのが、建設産業であります。私たちは本業を通じて、持続可能な社会の実現に向けて広く貢献していると、自信を持って仕事にあたりたいと考えています。

当社は会社設立100年となる2036年に向けて「想いを築き幸せを創造する」企業である為「長期ビジョン 2036」を策定しました。

その中で特に「社員と家族の想い」をサポートするため「人的資本経営の推進」を強く導入してきました。

また、人事制度に関する育成教育も行っています。これらは、長期ビジョンの実現に向けた、未来への投資と考えております。

将来、現在を超える人財が会社を支え、満足度・幸福度が高まり、生産性も向上し収益も安定していくなど、取組みが実を結ぶよう積極的に進めたいと考えています。

また、中長期の経営計画を実現させるために、性別や年齢、キャリアなど多様な人財を採用、活用することは、会社全体の改革と活性化につながります。

5年先10年先、そのもっと先も会社の発展を支えるのは常に「人」です。会社は人財育成に向けて制度改革や働きやすい環境、教育の提供にこれからも注力してまいります。

私たちは多くの人々とのかかわりの中で事業を行い、さまざまな「想い」と出会います。

それぞれの「想い」を大切に丁寧に形作ることで「幸せを創造する」会社へと成長し続けていきたいと考えています。

本年も引き続きご支援ご高配のほど、どうぞよろしく願いいたします。

2025年1月6日